

第587回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

テレビ番組「にいがた春爛漫 うまいっちゃ！佐渡の旅」



平成 25 年 5 月 24 日

BSN新潟放送

第587回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成25年5月24日(金)午前11:00～

2. 開催場所 BSN 本社6階会議室

3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 松川公敏	委員 渡辺隆
委員 正道かほる	委員 高井盛雄
委員 古賀豊	委員 佐々木広介
委員 小島良子	委員 行形貴子

委員側欠席者(敬称略・順不同)

副委員長 相羽利子	委員 齋藤俊太郎
-----------	----------

新潟放送側出席者

社長 竹石松次	常務 熊倉雄三
常務 梅津雅之	編成局長 野島常雄
営業局長 島田好久	ラジオセンター長 小原弘志

説明員 報道制作局情報センター

テレビ制作担当部長 宮腰尊史
アナウンサー 新海史子

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
考査広報部長	増山由美子(事務局員)

4. 議題

・審議番組

テレビ番組

「にいがた春爛漫 うまいっちゃん!佐渡の旅」

放送日時:BS-TBS 4月20日(土) 12:00～12:54

BSN 4月24日(水) 19:00～19:54

5. 議事の概要

～番組審議委員の意見～

全国放送ということ考えると、わかりやすく整理された構成だった。北陸新幹線を意識して上越市からスタート、直江津～小木航路で佐渡に渡ったのは新鮮だった。

紹介した情報に対してのフォローが必要。インターネット上のポータルサイトを紹介するとか、BSNのHPを案内するなどしてほしかった。

新海アナの役割がよくわからなかった。地元のアナウンサーとしてゲストの杉浦さんを案内するのか、一緒に観光をするのか、どういうスタンスで制作したのか？

新潟県内の人でも朱鷺を見たことがない人は多い。朱鷺を至近距離で見られる施設のシーンは魅力的だった。

どの年代をターゲットに制作した番組なのか？地図も出てきたが、交通手段や佐渡全体の中での位置などわかりやすく説明してほしかった。

そこでしか食べられないものがある、佐渡に行ってみたいと思わせる番組だった。一泊二日の佐渡という設定だったが、佐渡を知っている県民からするといささかりアリティがないように感じられた。

杉浦太陽さんと新海アナの明るさが番組を引き立てていた。

佐渡金銀山は世界遺産暫定一覧表に記載されている。今、佐渡を紹介するなら「世界遺産」をアピールしてもよかったのではないかな。

～宮腰テレビ制作担当部長から～

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

BS-TBSでも放送するに当たり、新潟の何をアピールしたいか考え「佐渡の食」をテーマに選んだ。佐渡を知らない県外の方と知っている県内の方、両方に楽しんでもらえて役立つ情報をとというバランスが難しかった。

新海アナは、佐渡の物知りガイドではなく一緒に観光するというスタンスだった。

実際に一泊二日で取材をしたものだが、地図などを織り込んでルートを説明すればよかったという反省点がある。

紹介した情報はBSNのHP「水曜見ナイト」枠にアップした。情報の発信については更に検討したい。

～新海史子アナウンサーから～

今回の取材で佐渡の魅力を再発見した。杉浦太陽さんは好奇心旺盛な方で、佐渡のいろいろなことに興味を持って取材していた。その様子が画面にも出ていたと思う。

今日いただいたご意見を次の番組に活かしたい。ありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】